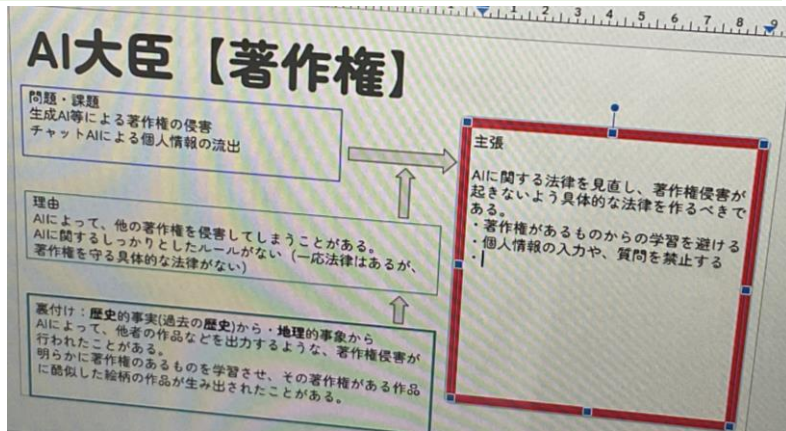


リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（社会科 授業公開：6月）



◀ドライブ 14:49 6月28日(金)

く ふりかえりシート3-6

ち せ

	F	G	H
1	本日の授業における今後の学習への改善点を挙げてみよう。	本日の授業で得た学びや感じたことを表現しよう。本日学んだキーワードを2つ以上使用すること	質問
2	男女差別のことがほぼあったからもう少し他の問題にも触れていきたい。		
3			
4			
5	主張の所をもう少し簡潔に書きたい	なんで人間は差別するようになったのかな... (自分がされたら幸くないのかな...?)	
6	プレゼンをちゃんとできるようにする。		
7	もう少しちゃんとゆっくり考えられればよかった	AIの発展、SDGsの達成の2つが今のJapanに大切だと思った	
8			
9	「世界」に進出するために、しっかり自分なりにまとめられました		
10	北朝鮮のことをやりすぎたので差別についてもやりたい。	日朝平壌宣言があったことを初めて知った。差別を完全になくすのは難しいなと思った。	
11	もう少し教科書を使いたい		
12			
13	教科書を使えばよかった！		
14			
15	特になし	SDGs目標達成頑張ろう！	
16	がんばった 歴史の教科書を持ってこようと思った	産業革命は全てを解決する	
17	多く文字を書いて小さくなって見づらかったからもっときれいにスライドをまとめたい		
18	特に製	地震が	
19	緊急地震速報の音を変えたい	地震が	
20			
21	地理の教科書などを使って、裏付けなどをしっかり考えたい		
22			
23	戦争をなくすための戦争をしようとしていた	工作船や不審船が領海に入ってきたらひとまず沈めてから考える	
24			
25	調べたことを具体的に言えるようにしたい		
26			
27			
28	し、次に教科書などをもっと効率よく使って、過去の工夫で今も取り組めることができそうなことを考えたいです		
29	政策 もっと見やすくスライドを作りたい	日本は戦争ができない、なのにそれを作ったアメリカは戦争ができる。なんでん	
30			
31	旧ソビエト社会主義共和国連邦のことしか書いていなかったこと	友達と話し合った結果、竹島を旧ソビエト社会主義共和国連邦に返ってその代わり北方領土をあげることによう	
32	主張の内容をもっと具体的に調べられたらよかった。		

6/20 6/13 6/14 6/18 6/25 6/28

授業者の個人的な研究テーマ

『思考の言語化を促す教材・教具、支援の工夫』

Googleスライドを用いて、考えを表現したり、共有したりする場をしていた。生徒は、教科書、資料集、インターネットから該当する情報を精査し、スライドにまとめていった。教師は適宜、個人やグループに対して、声かけを行っていた。

【成果】

★個別最適な学びの場面

まとめるものはGoogleスライドだったが、調べる物自体は教科書、資料集、インターネット、友との共有などの学習するためのものは多岐にわたっていた。（本時では指導の個別化が多くみられた。）

★協働的な学びの場面

Googleスライドを用いることで、グループ内はもちろん、他のグループで同じような内容を検討している友とも共有することができていた。多くの指示を出さなくても、スライドを見せ合ったり、他の人もスライドを見ている生徒が見られた。

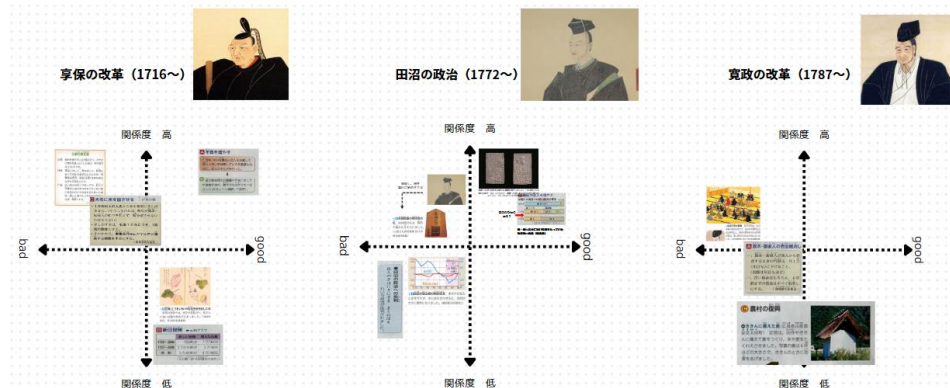
リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（社会科 授業公開：12月）

学習問題：18世紀に入って行われた改革は当時の人々にとって成功と言えるのだろうか？

学習課題：江戸時代を生きていた様々な身分や立場の人の状況に立って政策を評価しよう。

う。
う。）
自分の選んだ立場→「武士」

手立てについて

→自分が選択した立場によって、3つの政策を評価するしていた。ICTを用いることで、一人だけではなく、いろんな立場との意見の交流が生まれるように工夫した。

★個別最適な学びの場面

武士・町人・百姓という3つの立場を生徒自身が選択できるようにした。立場によって、それぞれの政策に対して、評価する視点を与えることで、メリットやデメリットを自分なりに深められるようにした。

★協働的な学びの場面

クラス全員が入って操作できるようなICTのホワイトボードツールを活用し、画像を動かすことで、自分なりの考えをまとめた。その様子はクラス全体の生徒が見れる状態になっているので、離れた席の生徒同士が授業の後半で、クロームブックを見ながら、直接画面を見ながら意見を交わしている様子も見られた。（右下の2枚の画像）

諸改革では、どのような政策を行ったのだろうか？

18世紀の江戸時代にはなぜ改革が必要だったのか	身分	享保の改革	田沼の政治	寛政の改革
成長するため	まちびと	武士や百姓などの幅広い身分に対しての政策がたくさんあった。	お金について重視した	経済的に苦しい武士を救った
百姓が一揆を起こしていたり、ききんが起きたり、江戸時代の良くない状況を変えるため。	百姓	武士の収入の年貢を増やすために新田開発を行ってたくさん稼いだ。参勤交代の負担を減らすために、武士が上米の制を行った。庶民の意見を取り入れるために目安箱を設置した。	武士がお金を使ったやり取りをスムーズにするために新たな通貨を発行した。	百姓が、ききんがおきても米を収め続けられるように倉を作った。経済的に苦しい武士たちを助けるために借金取り消しをした。
町人から見て、税金とかを払う必要があったのが不満だったり、ききんが起きてしまえば収入源の商品作物とかも育たなくなる	町人	年貢を増やすために新田開発を行ったり、公事方御定書を出し裁判時に適正な罪が与えられるようにした。刑の基準を定めた「公事方御定書」を設定し、目安箱の設置や実学の奨励など、百姓や町人にも配慮した政治が行われた。武士→収入が増えて嬉しい。町人→	南鐐二朱銀を発行しお金の価値を統一し、やり取りをスムーズにした上、金の収入に力を入れ米と金の収入をあわせたときに黒字になるようにした。株仲間の奨励をし、税金を収めさせたり海産物の輸出に力を入れた。子年貢米以外の収入を増やすため、海産物の輸出、株仲間から税の徴収、金の収入を増やすなど、武士向けの政治が行われた。賄賂なども統出し批判する歌も詠まれた。武士→収入が増えて嬉しい。町人→株仲間が増えて嬉し	借金帳消しを行い、経済的に苦しい武士を救った。朱子学以外の学問を禁止し、江戸時代からの規律を見直したり人足寄場を作り、軽犯罪者の更生をさせた
飢きんや天災、一揆の発生などで百姓が減り、年貢米も減っていた。百姓の中で身分差が広がっていき、身分の支配が崩れそうになったり、悪い状況が続いたから。	武士			御家人・旗本の借金を帳消しにしたり、朱子学を広め上下関係をはっきりとさせ武士を優遇していたが、即座に備えた倉の設置など百姓にも配慮した政策が取られた。武士→地位が保証されて嬉しい。町人→金さえ渡せば



リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】 ②情報活用能力の育成（社会科 授業公開：10月）

ヨーロッパ

イギリスは再びEUに加わるべきか

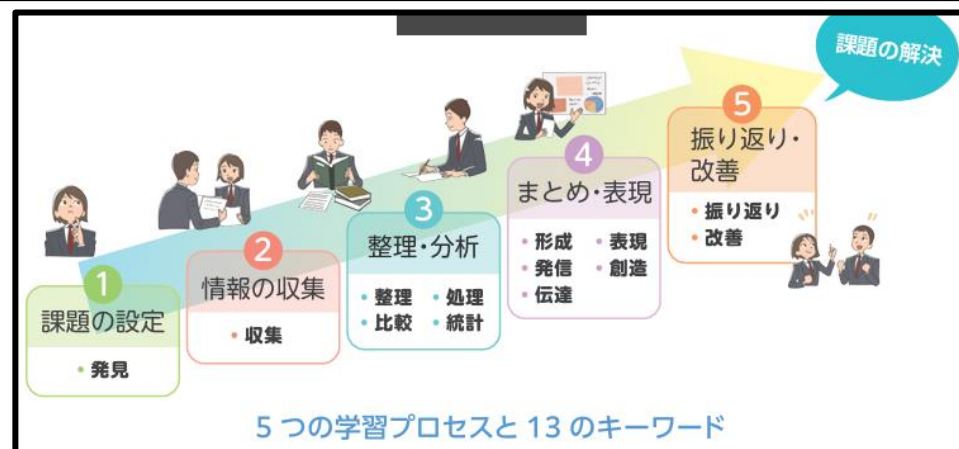
根拠となる資料をコピーして、自分の意見を明らかにしよう。

このグラフを見ると、EUに
入っている年々イギリスの失業率
が上がっているのがわかります。
このこと、イギリスの人々の
意見に響き、イギリスの人々の
意見が失われていく可能性があります。
EUに加盟すると、イギリスは国
境を越えることができない、
関税がないのはすごくいいと
思うから。

理由は、EUに加盟しているからパスポート
無しで国境を超えて国に移動できるからイ
ギリスにもともと住んで働いている人達の
職業が奪われ、失業がなくなり失業になっ
てしまう人が増えてしまっている。

特にドイツやフランス、イギリスは負担
の方が補助金より多くてうちは加盟しないほ
うがいいと思いました。でも負担より補助
金のほうが多い人はメリットが多いので
EUに加盟してもいいと思いました。

授業の構想及び実践に資する学習のプロセスに情報活用能力を位置づけた指導指標を開発し、それを「情報活用能力ベーシック」と名づけました。「情報活用能力ベーシック」は、学習指導要領をはじめ、文部科学省が公開している関連文書を対象に、「情報活用能力ベーシック」に適合するキーワードを抜き出し、整理したものです。（抜粋、引用）



「情報活用能力を育む授業づくりガイドブック 中学校編」より引用
（日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）より発行）

ホワイトボードツールを使い、考えをまとめることに対して生徒自身は熱心に取り組んでいた。「教科としての学び」を深める時間と「情報活用能力の育成」という両面を意識しながら授業を行った。

本時は、上記の5つの学習プロセスの【2情報の収集、3整理・分析】が中心となっていた。

自分の考えの根拠となるものを見つけ出したり、ICT機器を用いて、伝わりやすいように画像や文章でまとめようとしていた。1年生ということもあり、ICTツールに慣れることも目的の一つであったため、教科のとしての学びの部分が浅くなってしまったところもある。ここまでまとめられる生徒だったからこそ、自分の考えをもった状態で「議論すること」で、より考えを深めることができたと思われる。ICT機器を使いながら教科の特色を伸ばすことは、全体としての課題であることが分かった。

【取組内容】 ③校務DX（Google Chatを校務の中で活用していく事例）

R6箕輪中 授業研修chat



立場の違う生徒同士で、意見交流が生まれていました。
読み取った資料をもとに議論しています。

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1RpsCODM8AYn7lJZhOT1uxJPYnmVNPEVYQsqBhrygQ_g/edit?usp=sharing
生徒の振り返りシートになります。



動画等アップありがとうございます。

授業公開お疲れ様でした。

グループでの話し合いやロールプレイをすることで、生き生きと主体的に学習を進める様子が伝わって来ました。やはり生徒同士が「対話する」ことで、どんどん学びが深まっていくことを、改めて学ばせて頂きました。

ありがとうございました。



12月6日, 15:38

動画だと、写真だけでは伝わらない会話がわかってよいものですね。

の生徒たちとの会話が楽しそうでいい表情です。
教師も楽しみながら授業に参加するのが最高だと思っています。

私が校内をまわっていたら、他の先生が[]教材で同じように進め方でおられる授業がありました。(間違えだったらすみません) 教科内でこの進め方がよいのかを検証していこうとする姿がよいと感じました。(ICT支援員)

R6箕輪中教職員

本日の日報です。

日報 1月10日(金)

今日の予定:共有		14日 予定:共有	
◎[旧暦] 日産:		◎[旧暦] 日産:	
◎[旧暦] 朝活動: 屋敷 10:00 ~		◎[旧暦] 朝活動: 〇 屋敷	
◎[旧暦] 塾: 読書 8:15 ~ 8:25		◎[旧暦] 塾: 読書 塾集約	
◎[旧暦] 生活 8:25 ~ 8:35		◎[旧暦] 生活 8:25 ~ 8:35	
◎[旧暦] 1.31		◎[旧暦] 1.31	
◎[旧暦] 2.32		◎[旧暦] 2.32	

PDF 1.10日報.pdf

おはようございます。本日の生徒総会の計画です。（職員会に出したもの）お世話になります。よろしくお願いいたします。

第2回生徒総会計画

- 小嶋先生
1. 目的
今年度最後の生徒総会にて、次の生徒会に引き継ぐこととを促して、全生徒一人ひとりが今年度の生徒会活動に参画できるようにする。
2. 日時・場所
12月17日(金)15:50開校後 校舎後教員室
3. 施設・持ち物
・校旗(1枚)東洋館後、前校中の旗杆可)
・旗手書 (chrome)
・生徒会旗
・校下旗手は必ず着す
4. 人数(100名)・人数(100名)計数(100名)
校下旗手 2名

【校務での利用】

- ・教務主任から、PDF化されている日報をチャットに送信してもらっている。手元で日課を確認できる
- ・生徒会では、多くの資料をGoogleドキュメントを使って作成している。職員会や連絡会などでは、そのデータをチャットに共有することで、その場での確認ができるようにしている。
- ・職員用のGoogleチャットで日常的な連絡等に活用している。「だれでも」「どこでも」使えることができていると感じている。

これらの活用によって、ペーパーレス化、即時的な情報共有がかなり進んでいるように感じている。職員全体として、繰り返し使うことで、日常の中に浸透していくと考えられる。まずは全体で使っていくことが大切であると感じている。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【取組内容】③校務DX（出欠確認や出席停止等の確認をGIGA環境で確認している事例）



本日のコロナとインフルの状況 ツール、ヘルプなどの検索 (Alt + Q)

イル ホーム 挿入 共有 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 自動化 ヘルプ 描画

遊ゴシック (11) B 標準

2024/3/30

コロナ陽性者 ※5日間かつ

★は発症日(★は発症日に登校)

	IN	IO	IP	IQ	IR	IS	IT	IU	IV	IW	IX	IY	IZ	JA	JB
1月3日															
1月4日															
1月5日															
1月6日															
1月7日															
1月8日															
1月9日															
1月10日															
1月11日															
1月12日															
1月13日															
1月14日															
1月15日															
1月16日															
1月17日															

校務DXの紹介

●校務支援システムの活用

→欠席連絡、学年通信、学級通信の送信、部活でも活用中
このことによって、朝の電話当番の業務をなくすことができた。また、全校・学年・学級等の範囲での急な連絡も即時届けられるようになった。

●Googleスプレッドシート

→インフル、コロナの罹患者の把握、身体測定の入力等
どこにいても職員ならば、感染症の罹患者を確認することができるようになっている。また、以前まで身体計測の数値は手書きのものを打ち込みなおしていた。それをスプレッドシートを利用することで、計測終了後に入力も完了することができた。今までは、紙に書いて、後日入力していたが、その手間がなくなり、業務軽減につながっている。

大変だと思う業務を見つけ出し、どうしたら軽減させていけるかを工夫していくことで、働き方改革への一歩を踏み出していけると思う。



住所	班別見学に向けて京都の観光地を調べよう。
京都府京都市東山区清水1丁目294	
できた年	3学期にある班別での京都の観光地巡りのために、京都の寺院などを調べましょう。 割り当てされたスプレッドシートをもとに作成してみましょう。3か所以上、5か所以内で作成してください。 ※切は1月9日です。
778年開山	
魅力(200)	
清水寺には、13万平方メートルのほか、正門の仁王門をはじめとまた清水寺は、音羽の瀧や「胎社」と、さまざまなご利益のパワ	

【2組】京都見学地調べ
Google スプレッドシート

③ クラシルーム・Googleスプレッドシート

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】指導の個別化するためにGIGAを活用する授業（国語科 授業公開：10月）

<考察>

指導の個別化をするためにICT機器の活用を組み合わせることで、多様な学び方が教室の中に生まれていた。

【画像①～④について】

①の生徒たちは、動画教材を視聴し、理解を深めている様子。

②教科書等を用いて、言葉の意味や内容を整理している様子。

③教科書の音読を教師が確認している様子。

④スライドを用いて、内容の理解をフォローしている様子。

①～④の様子が1時間の中で、多くのところで見ることができていた。

生徒の進度に応じて、取り組むべき課題が決まっているから、それに応じた支援を入れることができる。

一斉指導ではなかなかできなかった一人ひとりの支援ができていた様子も見られた。

こういった取り組みを国語科全体で行うことで、どのクラスでも同じような学びを深めることができていた。



国語科の研究の柱

- ①生徒が学ぶ意味や価値を感じるような課題の設定をどのようにするか
- ②国語を学ぶことで生徒の資質・能力を育成する学び方のあり方
- ③生徒の学びを支える学習問題・問いとは

生徒が自律的・主体的に学ぶための「問い」
学習問題のあり方について追究したいという願い

【本単元の目標】

音読を通して登場人物の思いに迫り、
日本最古の物語『竹取物語』の世界に親しもう

セカンド・
ステージ・
〈3時間〉
本時は第3時

④NHK for School「おはなしのくににクラシック『竹取物語』」を視聴する。

⑤教科書を用いて、「竹取物語」の冒頭部分を音読する。

⑥冒頭部分の現代仮名遣いや言葉の意味を確認する。

⑦教科書を用いて、五人の貴公子たちの失敗談を整理する。

⑧くらもちの皇子の架空の冒険談を読んで、内容を確認する。

⑨くらもちの皇子になりきって音読する。

・ワークシートを配付し、学習方法や進め方などセカンドステージの学習計画を立てる時間を確保する。

・生徒の活動の様子や振り返りの記述などから学習の状況を確認し、必要に応じて全体や個別に指導・支援を行う。（詳細は次ページ）

・授業中または授業後に活動の様子をチェックする。

リーディングDXスクール事業【GIGA×教科】

箕輪町立箕輪中学校・箕輪町（長野県）【指定校】

【GIGA×中2・技術科】自分が目指す作品をつくるために、友との協働・動画教材を活用している事例

＜考察＞

「あったら便利だマシンプロジェクト」

Cエネルギー変換の技術

(2) エネルギー変換の技術による問題の解決

【今回の単元目標】

既存の技術のしくみを学び活用しながら「TECH未来」を使って機構モデルを考え、クラス内で提案する活動を通して、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、新たな発想に基づいて改良する力を身に付けることができる。

【ICTの活用場面等】

自分たちが考えた目指すものに向けて作成を進めていくときに、上手くいかない場面が出てくる。そういったときに、GIGA端末で動画教材を視聴する。その中には、いろいろな作り方が載っている。モデルの作り方やその他の資料などを見ることができる。困ったときにその映像を確認しながら、現在の作業を比較することができていた。試行錯誤を繰り返すことができ、よりよいものを作ろうとする生徒の姿が生まれていた。

班で一つ作るのではなく、自分が作りたいゴールがあるからこそ、困ったときに、生徒同士での交流や教師との意見交換、GIGA端末での動画の視聴などの協働的な学びが生まれていた。一人ひとり目指すゴールは違うため、学習の個性化も本単元では意識されていた。

